



昨年夏、本学職員を定年退職された上野正雄さん（前就職部長）が、このほどブロンズ像を本学に寄贈。除幕式が12月9日行われた。像は、故北村西望氏制作の「將軍の孫」（高さ約1.5m）。大正時代、当時5歳の長男・治禮氏がアトリエにあったブカブカの軍靴をはいて、父・西望氏に敬礼している、無邪気な表情を表したもの。長崎の「平和祈念像」とともに代表作とされている。

寄贈者の上野さんは「私は図書館、学生部、就職部など、学生と接触するセクション一筋でした。何らかのメッセージを学生に残そうと思って、恩返しのためで寄贈させていただきました」と話している。

モノレールの開通に伴い、文学部棟南側植え込み前の通学路は、中大一のメインルートになる。ブロンズ像は朝に夕に登下校する学生に、きっと心温まるメッセージを送ってくれるにちがいない。

ブロンズ像の横で挨拶する上野さん



「学生さんおはよう」



本学を退職された
上野正雄さん

ブロンズ像寄贈